

常態的・先行的な生徒指導及び実効的な生徒指導体制の充実

生徒指導上の諸課題の未然防止や再発防止、課題早期発見対応や困難課題対応の生徒指導を広い視点から捉え直すためにも、発達支持的生徒指導及び課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）の在り方を改善していくことが重要となります。また、実効的に機能する生徒指導体制を整備し、一人一人の児童生徒理解に基づいた個への適切な指導・援助についてPDCAサイクルを機能させ、組織的に行うことが大切です。

1 常態的・先行的（プロアクティブ）な生徒指導の創意工夫

(1) 発達支持的生徒指導

児童生徒への声掛け、励まし、対話、普段の授業や行事等を通じた児童生徒理解に基づく個と集団への働き掛けが大切です。また、学習指導と関連付けて行うことも重要です。

魅力ある学校・学級づくりのために

教職員が、児童生徒の「居場所づくり」を進めることで

児童生徒が、主体的に取り組む協働的な活動を通して「絆づくり」を進めることで

児童生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができ、自己肯定感を高め、充実感を得ることが期待できます。

他者との関わりの中で自己有用感や社会性が育まれ、仲間を支援できるよりよい集団に成長することが期待できます。

授業は発達支持的生徒指導を行う重要な場の一つです。生徒指導の実践上の視点を生かした授業づくりが児童生徒の自己指導能力の獲得につながるとともに、学習への充実感を得ることにもなります。

「生徒指導の実践上の視点と授業づくり」の例

自己存在感の感受

役割分担、考えや活動への価値付け

自己決定の場の提供

考える時間の保障、対話や議論の場の設定

共感的な人間関係の育成

話し合いの目的や視点の明確化、相互評価

安全・安心な風土の醸成

学習ルールの共有、受容的な雰囲気づくり

(2) 課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）

児童生徒の実態に応じて生徒指導部等を中心にスクールカウンセラーや広域カウンセラー等の協力を得ながら、いじめ防止教育、自殺予防教育（SOSの出し方教育）等を年間指導計画に位置付け、意図的・組織的・系統的に実施することが重要です。

【教職員の取組】の例

SOSの出し方に関する指導を行う場合には、SOSを受け止めるために、児童生徒の状況を多面的に把握する研修等を行うことが大切です。

【児童生徒の取組】の例

いじめ防止のための取組を児童会・生徒会で話し合うなど、児童生徒が主体的に考えることで、安全・安心な学校風土を自らつくり出していくことが期待されます。

2 実効的に機能する生徒指導体制の充実

(1) 生徒指導と教育相談の一体化

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの協力を得るなどし、児童生徒理解に基づいた発達支持・課題予防・困難課題対応の教育相談が組織的・計画的に実践できる体制づくりを図ることが大切です。

課題予防的教育相談

問題や課題の兆候が見られる特定の児童生徒を対象として行います。丁寧な関わりと観察、定期的な面接、質問紙調査などで、対象となる児童生徒を早期に見付け出した後、スクリーニング会議などに基づいて即応的に支援を行うことが必要です。

ICT タブレット端末の健康観察機能等を活用することは、児童生徒の心身の状態の変化に気付いたり、相談支援のきっかけとなったりするなど、悩みや不安を抱える児童生徒の早期発見や早期対応の一助となることが期待されます。



(2) チーム支援のプロセスを踏まえた個への指導・援助

課題などを抱えている児童生徒にはアンケート等を活用しながら、個への指導・援助が効果的であったかをPDCAサイクルに基づいて点検・評価し、見直しを図ることが重要です。

チーム支援の判断とアセスメントの実施

多面的、客観的な資料等を基に、チーム支援の必要性と方向性について判断し、自助資源と支援資源を探ります。

課題の明確化と目標の共有

課題を明確化し、具体的な目標を共有した上で、関係する教職員等の専門性や持ち味を生かした役割分担を行います。

チーム支援計画の作成

問題解決のための、具体的な指導・援助の計画を作成し、支援目標を達成するための支援チームを編成します。

チーム支援による実践

チームによる指導・援助を組織的に実施するとともに、ケース会議を開き、経過報告を行って進捗状況を共有します。

チーム支援の点検・評価

設定した長期的、短期的な目標の達成状況について総括的な評価を行い、必要に応じてチーム支援計画を見直します。